



青葉区フードバンク通信



横浜市青葉区「すすき野団地」で食品配布。「さくらプリンセス」もフードバンク活動を支援！

師走に入り、各地での食品配布もピークを迎えてきた感があります。そんな気忙しい時ですが今回、横浜市青葉区の「すすき野団地」にてフードバンク活動を初めて行いました。

国際文化交流研究会は、横浜市政策局がコーディネートする「よこはまりビングラボ」の一員として活動に参加しており、「サーキュラーエコノミーplus」の考え方に賛同しています。その一環としての食品支援活動でしたが、100名弱の方々がお越しになり、香川県からの野菜などをお受け取りいただきました。写真の女性は「日本さくらの会」が全国公募の中から選出した「さくらプリンセス」で、今回の「すすき野団地」での食品配布をお手伝い下さいました。普段は、日本文化を世界に広報し、国内では桜の植樹式や桜祭りなどの行事参加や、地域の人々との交流を通じて「桜」への理解を深める活動をされています。



横浜市青葉区「すすき野団地」での食品配布の様子。

この「日本さくらの会」が1964年設立当初から「桜の植栽・愛護保護」を通じて環境保全に寄与するという基本理念のもとに50年以上も活動を継続されているその姿は、まさに昨今世界中で叫ばれているSDGs活動の先駆者と言えるでしょう。

また、青葉区には「桜を愛する会」という鶴川沿いの桜並木をサポートしている団体がありますが、国際文化交流研究会でもコラボしており、地域の交流や文化振興に尽力してきました。やはり「桜」は日本人の心であり、共通の美意識として浸透していますから、その保護活動に注力してきて良かったと実感しました。今回は「桜の縁」が複数団体のフードバンク活動支援の輪を広げ、絆を深めてくれました。横浜市政策局、すすきの団地をはじめ関係者の皆様にご感謝申し上げます。



公益財団法人 日本さくらの会
から選出された「さくらプリンセス」が、食品配布のお手伝いに来てくれました。

主なフードバンク活動の記録

- 【第22回】12月08日（水） 夢見堂
 - 【第23回】12月12日（日） すすき野団地
 - 【第24回】12月13日（月） 鴨志田地域ケアプラザ
 - 【第25回】12月20日（月） 鴨志田団地集会所
 - 【第26回】12月22日（水） 夢見堂
- ★2022年の食品配布会の開催予定★
- 1月10日（月） 鴨志田地域ケアプラザ
 - 1月12日（水）、26日（水） 夢見堂
 - 1月17日（月） 鴨志田団地集会所
 - 1月19日（水） すすき野団地

編集後記 すすきの団地での月例催事は住民交流の場として実施されてきていますが、今回のフードバンク活動は「よこはまりビングラボ」の一環として初めて開催されました。会場にはミニ市場やイトインコーナーなどもあり、「子ども劇場」の上演も人気でした。（公財）日本さくらの会から派遣された「さくらプリンセス」の細田未央さんは配布食品の説明をしたり、にこやかに参加者との記念撮影に応じたり楽しそうでした。屋外で、気温が低い冬の日でしたが晴天に恵まれお祭りのような雰囲気の中で、僅かながらでも「フードロス」が解消されていきます。細田さんは、桜の植樹式とは異なるフードバンク活動も、日本さくらの会が永年継続してきた地球環境保護の取り組みとして根幹は一緒である事を知り、「さくら」への思いを新たにしたいようです。（園）